

あなたの農業経営をサポートします。

アグリいしかい

石狩市農業総合支援センター通信
第6号 2010. 12月発行



ミニトマトの有効活用として、加工品開発にチャレンジしてみました。詳細は後ほど

- 主な内容
- ・婚活バスツアーの実施
 - ・グリーンミニトマトの活用
 - ・GAP講習会の開催について
- 他

視察研修の受入れ

当支援センターに担い手育成支援、新規就農・後継者対策などについての視察団が下記の通り訪れました。

- 中富良野町担い手対策会議（9名）
10月19日（火）
- 赤井川村農業委員会（11名）
11月1日（月）



中富良野町の様子

GAPの講習会の開催について

昨今、加工段階における食の安全・安心を揺るがす出来事が相次ぎ、消費者のあいだで、安全・安心、環境問題への関心はますます高まっています。

食の安全・安心と消費者の信頼の確保に向けた取組がますます重要となっている中、農産物の生産段階においても、消費者が求める安全・安心な農産物の生産はもちろん、それをいかに継続し、改善していくか、証明していくかということも大切です。

近年、危害の未然防止に重点を置いた、食品の安全確保、品質の改善、環境保全など様々な目的で、生産者自らが、適切な工程管理を実施する方法として、GAPが国内外で注目されています。農林水産省においても、「平成23年度までに、おおむね全ての主要な産地においてGAPの導入を目指す。」としています。

については、「GAPとは何か」、「今、なぜGAPが求められるのか」といったテーマで、産地におけるGAPに関する知識と理解を深めるための講習会を開催したいと考えております。

北海道の産地は、一般的には、安全・安心というイメージで受け入れられているが、それに甘んずることなく、GAPの考え方を取り入れて、さらに消費者、実需者の信頼を増加させる取組をして行こうではありませんか。

尚、時期、講師等は未定ですが決定しましたら追って連絡いたします。
多くの生産者さんの参加をお願いします。

農地情報

下記の農地をお貸しします。

所在地	地目	地番	面積 (m ²)	希望賃借料 (10a)	備考
八幡5丁目	田	120	43,280	10,000	共済面積 389a
	原野	305-1	13,505	6,000	
	原野	305-2	8,875	6,000	

※農地を貸したい、借りたい人は農業総合支援センターまでご連絡ください。

石狩市農業総合支援センター
☎ (0133) 66-3345

初の婚活バスツアーが実施されました

11月7日(日) 独身農業青年に出会いの場を提供しようと「いしかり農業青年との婚活バスツアー」を実施しました。男性は12名の参加、女性は主に札幌市内の25歳から39歳までの独身女性18名が参加しました。女性側はJR札幌駅からバスで石狩市に移動、生振地区の花井農家に到着後お互いの自己紹介を行い(写真①)、その後赤い長靴・つなぎ姿でカーネーションを収穫。(写真②)次に北生振地区で人参、大根を収穫しました。(写真③)初めは緊張した表情を見せていた参加者たちも共同での収穫作業などで時間が経つにつれて次第に和やかなムードとなり、その場で水洗いした人参を口にした女性の多くは「甘くて美味しい」と笑顔を見せていました。

お昼を過ぎたところで、同地区の倉庫で交流会が始まり、石狩産米4種類による食べ比べ、浜益和牛、石狩産豚肉、石狩鍋などを囲んで(写真④)、参加者でのメール交換などが盛んに行われて、最後はトラクターの試乗を体験して帰路につきました。

その約1週間後、バスツアー参加者のうち男性8名、女性8名が札幌市内の居酒屋で合コンをするなどしており、今後カップルになり順調な交際を経て、ゴールインすることをお祈りいたします。

完熟していないミニトマトの活用

11月19日(金)高岡ふれあい研修センターにおいて、当支援センター、石狩農業改良普及センター石狩北部支所の呼びかけで、高岡地区でミニトマトをハウス栽培する「高岡施設園芸生産組合」の関係者9名が集まり完熟していないミニトマトの活用方法を検討しました。

毎年11月の収穫最終時期に完熟していないミニトマトが大量に残りこれまではそのまま処分されてきましたが、このミニトマトを有効活用できないかということで、当日は普及センター石狩北部支所白澤地域第二係長、今井専門普及指導員の指導のもと、グリーンミニトマトチャウ、グリーンミニトマトのピクルス、ウイスタソースなど3品を作りました。特にミニトマトチャウはミニトマト、玉葱、各種香辛料を加え鍋で4時間煮込んだものであり、まろやかな甘みでパンやカレーなどに合いそうな品ができました。

今後は高岡のミニトマトのPRとして来年2月に開催される「いしかり地産地消フェスタ」に出品し、商品化に向けてさらに検討を重ねていきたいと考えています。



(写真①)



(写真③)



(写真②)



(写真④)

婚活バスツアーのPR

その女性参加者募集のため10月21日(木) JR手稲駅で独身農業青年、JAいしかり等関係職員計9名で、募集チラシにカーネーションを添えた配布でPRを行ないました。300部用意しましたが、初めは慣れない様子でしたが、徐々に手際よく配ることができ、また帰宅途中の女性にはカーネーションの印象が良かったのか約40分で終了しました。

その甲斐もあり、配布された募集チラシで婚活バスツアーを知った女性2名が参加しました。



グリーンのジャンパーが農業青年

さつまいもの試験販売

前回号でもお伝えしましたが、当支援センターでは新たなブランド化に向けた可能性のある野菜を約85種類試験栽培していますが、その中でさつまいもの試験販売を10月9日(土)樽川地物市場で行ないました。当日は、紅はるか、パールスイートロードの2種類を販売しましたが、市内スーパーマーケットでの販売価格より2〜3割安価であったので、約50袋用意したさつまいもは午前中で完売しました。



高岡畑かん利用組合の視察

高岡地区の地域づくり事業の一環として11月9日(火)高岡畑かん利用組合員11名が先進地視察として洞爺湖町の大原調整池、町内農家の畑かん施設を視察しました。洞爺湖町洞爺総合支所山本支所長から国営かんがい排水事業の説明を受けた後、町内の畑かん施設を利用している農家より経緯等お話ししていただきに熱心に耳を傾けていました。本視察が今後の高岡地区農業振興の参考となればと期待しています。



チコリの栽培

チコリはキク科の作物で軟白した結球部を食用とする高級食材と言われています。市内では主に厚田区で生産されていますが、今年から新たなブランド化栽培事業として石狩農業普及センター石狩北部支所の指導のもと高岡地区で試験栽培を始めました。8月に播種、11月末にチコリの堀取りを行い根株を採取してその後、倉庫内で15〜20℃に温度調整して育てています。12月末には食材用として収穫される予定です。



根株の様子



このようになります